

(第1面)

## 事業活動脱炭素化取組計画書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 210-0818

住 所 神奈川県川崎市川崎区中瀬3-21-6

氏 名 川崎鶴見臨港バス株式会社

取締役社長 野村 正人

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	川崎鶴見臨港バス株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区中瀬3-21-6		
該当する事業者の要件 及び温室効果ガスの排 出を行う産業、運輸そ の他の部門	<input type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	運輸 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業、郵便業
	中分類	43	道路旅客運送業
主たる事業 の内容	自動車による旅客輸送業		
事業者の規模	<input type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	kL
	<input checked="" type="checkbox"/>	自動車の台数	304 台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	2025 年度 ～ 2027 年度
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制	別添 指針様式のとおり
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添 指針様式のとおり
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添 指針様式のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添 指針様式のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。

1 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量の削減等を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量の削減等に向けた方針

当社主要事業のバス事業はマイカーから環境負荷がより少ない乗り物への転換の「モーダルシフト」を担う役割である。  
また、温室効果ガスの排出量を削減するためのEVバスや連節バスなどの環境配慮に富んだ車両の導入に積極的に取り組み、環境負荷低減に向けた継続的な温暖化対策を実施していく。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

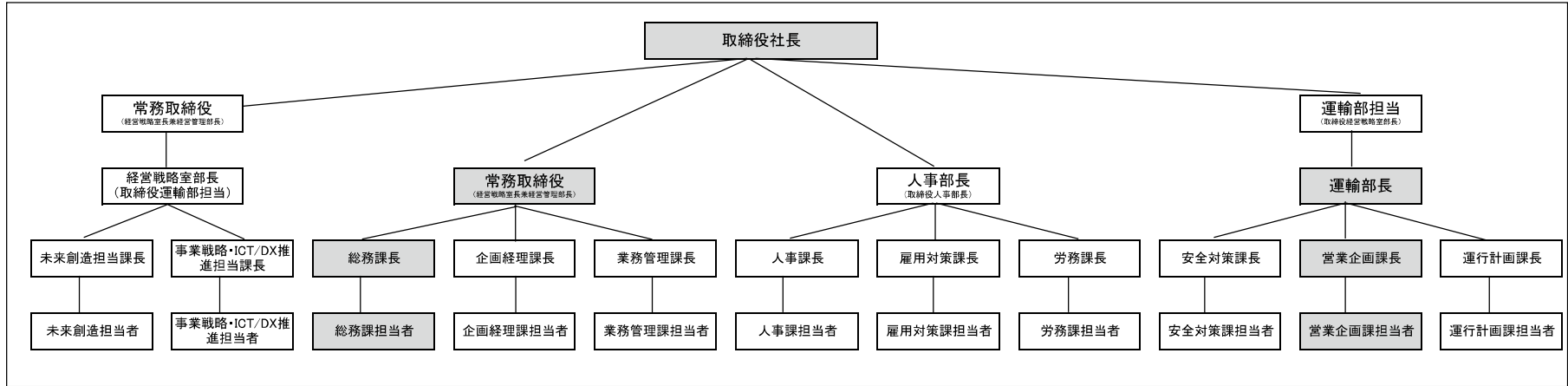
●環境負荷低減に特化した車両の積極的導入  
EVバス、連節バス、ハイブリッドバスを増車し、ディーゼルバスを減車する。  
●エコドライブの実施  
掲示によるエコドライブの呼びかけ実施や大気汚染防止強調月間実施時の運行管理者によるアイドリングストップの積極的実施

2 温室効果ガスの排出の量の削減等に向けた組織体制

別紙体制図

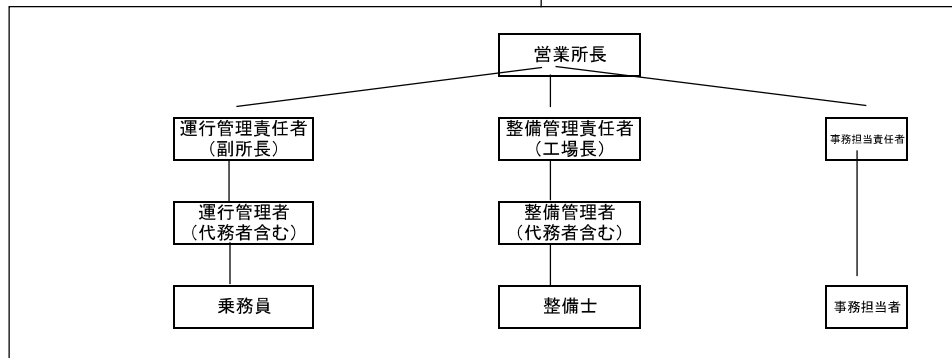
別紙体制図

本社部門



営業所部門

3営業所(浜川崎、神明町、塩浜)



※ R7.7.22現在

取締役が部長委嘱

網掛け部分が報告書作成関係部署

3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。))

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準	年度	2024	年度	2024	年度	2024	年度
目標	年度	2027	年度	2027	年度	2027	年度
基準	排出量 ( $t-CO_2$ )	(基) (調)		(基) (調)	9,148 9,148	(基) (調)	
目標	排出量 ( $t-CO_2$ )	(基) (調)		(基) (調)	8,568 8,568	(基) (調)	
削減	量 ( $t-CO_2$ )	(基) (調)		(基) (調)	580 580	(基) (調)	
削減	率	(基) (調)	% %	(基) (調)	6.3 6.3	(基) (調)	% %

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

		1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(年度)	排出量 ( $t-CO_2$ )	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	
		削減量 ( $t-CO_2$ )	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	
		削減率	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)
第2年度	(年度)	排出量 ( $t-CO_2$ )	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	
		削減量 ( $t-CO_2$ )	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	
		削減率	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)
第3年度	(年度)	排出量 ( $t-CO_2$ )	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	
		削減量 ( $t-CO_2$ )	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	(基) (調)	
		削減率	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

比較年度	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
	2013	年度	2013	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)	10,895 10,895	(基) (調)	
目標排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	(基) (調)		(基) (調)	8,568 8,568	(基) (調)	
削減率 (目標)	(基) (調)	% %	(基) (調)	21.4 21.4	% %	(基) (調)
削減率 (第1年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率 (第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率 (第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(3) 目標設定に関する説明

「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(省エネ法)に基づき、「中長期計画書・定期報告書」を関東運輸局に提出しており、こちらでも記載をしたが、現状でCO2排出量を減らすためのEVバスの導入計画をたてており、EVバス1台導入(ディーゼル1台減車)による排出減は12k1(原油換算)であり、こちらを排出CO2になおすと、32.26tCO2となり、こちらが2025~2027年までの間に計18台の導入が予定されているため、32.26tCO2×18台の580tCO2(小数点以下切り捨て)の削減が可能と予測されているため。

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	(第1年度・第2年度・第3年度) 環境に配慮した車両の積極的導入 (第1年度・第2年度・第3年度) 燃費向上のためのアイドリングストップの積極的実施 (第1年度・第2年度・第3年度) エコドライブの実施
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

6 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項 (3号該当者等)

(1) 燃費

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
燃費 (km/L)	別紙のとおり				別紙のとおり

(2) 車両の内訳

ア 車両の種別

種別	台数
普通貨物自動車	0 台
小型貨物自動車	6 台
大型バス	291 台
マイクロバス	1 台
乗用自動車	6 台
特種自動車	0 台

イ 対象自動車の内訳

		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
次世代自動車	電気自動車	8台				26台
	プラグインハイブリッド自動車					
	ハイブリッド自動車	32台				31台
	燃料電池自動車					
	その他					
上記以外		264台				247台

(3) 乗用車の電気自動車・燃料電池自動車の導入割合

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
導入割合(%)					0%

(4) 目標設定に関する説明

目標年度の2027年までの間にEVバス増車の計画があり、2025年度には8台、2026年度は5台、2027年も5台という計画を立てており、予定通りの導入台数であった場合の数値を記載。

(5) 計画期間の燃費の向上、次世代自動車導入の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する燃費の向上、次世代自動車導入等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第5及び6等を参考に記載してください。)

計画	各年度ごとにEVバス導入を予定しており、2025年度は8台、2026年度は5台、2027年度は5台の導入計画を立てている。	
第1年度		
第2年度		
第3年度		
計画期間における燃費の向上、次世代自動車導入等の評価 (第3年度の報告時に記載)		
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		

指針様式第1号(第5-1面)別紙

車種別燃費

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
燃費 (km/L)					
ガソリン自動車等 1.4t未満	16.17				18.00
ガソリン自動車等 2.2t未満	7.03				7.20
ガソリン自動車等 2.2t以上					
バス 10t未満	2.21				2.21
バス 10t以上	2.17				2.40
貨物 3.5t以下かつ1196kg未満	13.05				13.30
貨物 3.5t以下かつ1196kg以上	7.10				7.30
貨物 7.5t未満					
貨物 7.5t以上					

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	上記目標等の設定なし			
内容				
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	年度	年度	年度	年度
	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比	%削減 ( )年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取組実績なし			
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	無			
内容				

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	導入なし			
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし			
RE100	該当なし			
RE Action	該当なし			
TCFD	該当なし			

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし			
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし			
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし			
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3 から 7 までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

<p>目標年度までの計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した車両の積極的導入</li> <li>・燃費向上のためのアイドリングストップの積極的実施</li> <li>・エコドライブの実施</li> </ul>
<p>第 1 年度</p>	
<p>第 2 年度</p>	
<p>第 3 年度</p>	